

273) 電話番

あなたの電話待っていたのに	行違いなのとても意地悪
30秒のメッセージには	またTELしますと入っているだけ
それでもわたし嬉しかったわ	あなたの声は久々だから
わたしの方から連絡とれない	だから今夜も電話番なの
そんな心を逆手 ^{さかて} にとって	あなたの電話かかってこない
だから一層あなたに逢いたい	あなたばかりが恋しくなるの
自分自身がもどかしくって	心が鬱 ^{うつ} になってしまうわ
たったひとりで待ち続けるの	ユーミンの歌聴いて過ごすわ
晴れているのに外にも出ない	電話の前であなたを待つ
ベルが響いて急いでとると	織田君からの誘いの電話
ことわる理由見つからなくて	OKしたけど気が乗らないわ
こんな毎日続けていると	いつか都会の孤児 ^{まいご} になりそう
六本木でも用事がすむと	足が自然に家へと向かう
今夜はきっとかかってくるわ	そんな予感が心を走る
もっとあなたとお話したい	もっとあなたに束縛されたい
あなたの腕に絡まるように	都会の中で生きて行きたい
もっとあなたに干渉されたい	あなたの愛を感じていたい
もっとあなたの中で生きて	あなたの愛を信じていたい